

第4期幸区区民会議第1回専門部会（仮称）A部会

日時 平成24年9月3日（月）午後6時半から

場所 幸区役所 プレハブ会議室

議 事 次 第

- 1 正副部会長の選出について
- 2 審議テーマの選定について
- 3 その他

地域の課題		取組み方針(案)	取組内容(案)	幸区区民アンケート結果(2012.6)	幸区内での主な取組
分野	テーマ				
地域防災活動の推進	・防災について家庭でできること、地域で取り組むことはなにか-防災意識の向上 ・一人暮らし高齢者など災害時要援護者が誰が手を貸せるか ・避難所運営については明確か	防災にかかわる市民の意識啓発と参加促進	1. 自助の周知啓発:日頃の備え、災害時取るべき行動 どこまで備えていけば良いのか【近藤委員】 避難所・給水所は知っているか【近藤委員】 自分の身は自分で守る、自分の安全を確保し、周りを見守る【西野委員】 避難場所の確認や道順、そこでできることは何か【小泉委員】 2. 共助の周知啓発:災害時要援護者への支援 一人暮らしの高齢者に誰か手をかけること【近藤委員】 3. 初動時～避難所開設までの市民の役割のあり方 災害発生後に公助主導で避難所開設前、自助・共助を終了した近隣住民のなすべきこと【三堀委員】 4. 地域の防災訓練への参加啓発・促進 地域ぐるみの避難訓練の実施、断水、たき出し等を実際に経験してもらう【小泉委員】 例えば多摩川が氾濫した場合、どこまで被害が及ぶかのシミュレーションをする【小泉委員】	・【問11:今後行政に特に力を入れてほしいもの】 『地震や風水害への対策,45.8%(13項目中1位)』 ・【問15:地域の課題・問題点】 『地震や風水害に対する準備が不足している,34.5%(13項目中2位)』 ・【問26:防災に関する知識や情報の入手経路】 『テレビ,ラジオ・新聞・雑誌,63.7%』 『市・区などが配布する冊子、パンフレット、マップなど,35.3%』 『学校・会社・地域の防災訓練・避難訓練,29.7%』 ・【問27:外出中(仕事中)での災害に備えて重要だと思うこと】 『家族で安否確認の方法を決めておくこと,71.9%』 『徒歩で帰宅する際、コンビニ・ガリソンスタンド等からの水道水・近隣避難所・道路情報の提供,62.5%』 『情報を入力する手段を準備しておくこと(携帯電話、ワンセグ、ラジオなど),53.0%』	・防災マップの改訂(3月発行予定、町内会・自治会を通して全戸配布予定) ・防災フェア開催による区民周知・啓発(年1回開催) ・町内会・自治会単位で実施するまちかど防災訓練への支援 ・まちづくり推進委員会の取組(各町内会・自治会に要援護者避難支援制度を広めるためのDVDの視聴を促し、制度の周知を図る取組を検討) ・地区防災組織等と協働した防災訓練の実施(区内の全自主防災組織で実施する防災訓練を年2回(24年度は9月に御幸東地区、3月頃に河原町地区が中心で実施予定)開催するほか、各自自主防災組織(27組織)ごとに実施。内容:避難訓練、消火訓練、トイレの設置訓練、応急救護訓練、避難所開設訓練など)
		帰宅困難者対策	道路寸断の場合、地域住民以外の避難者の対処方法【三堀委員】	・平成24年度から関係機関及び事業者などで構成する「川崎駅周辺帰宅困難者対策協議会」を設置 ・避難所(23ヶ所)ごとに組織する避難所運営会議の運営支援 ・自主防災組織の運営支援	
		避難所運営の充実	1. 避難所運営主体の明確化 町内会・自治会の主体的参加【古場委員】 スキル/キャリア保有者の登録と活用【古場委員】 【チャレンジ】 公的教育への組み込みなど【古場委員】 2. 避難所開設・運営方法の確立 避難所の開設、運営方法の公開【三堀委員】 指定避難所の駐車場、間取り配置など住民を加えて検討する【三堀委員】 複数の町内会がーカ所避難所に集まる際の、ルール作り【三堀委員】 高齢者、ペット持込み避難者の誘導【三堀委員】 3. 資器材の利用方法の確立 各町内会保有の防災器具の保管状況と非常食の配布方法【三堀委員】 各町内会の防災器具保管一覧表を相互利用し防災に役立てる【三堀委員】 防災倉庫の利用法、防犯と防災の融通性【三堀委員】 学校保管の防災器具と備品の公開、利用方法 など【三堀委員】 施設/資材の準備と、活用体制の常設化(自警消防団方式など)【古場委員】	・中学校区ネットワークの運営支援(中学校区単位で避難所運営会議のネットワーク化を行い、情報共有を図るための会議を年度内に開催する) ・地域防災拠点(中学校)、避難所(小学校)に対してシャベル、発電機等の資器材を備蓄支援	
安全安心のまちづくり	・第3期で自転車マナーについて取り組んできたが、まだ向上していない、引き続き継続審議が必要 ・時間がかかる問題	自転車マナー向上の意識啓発	1. 自転車交通安全の日の制定 (例)相模原市では「自転車交通安全の日」を制定している、幸区も交通安全の日を制定したらよいと思う【石原委員】 2. 自転車道の幅を確保したマナー向上の検討 幸区では自転車車が走る道幅が非常に狭いので、警察と道路公園センターと話し合って検討していい必要がある【石原委員】 3. 自転車教室の開催 毎年、幸警察署が中心となって幸区内の小中学校で交通安全教室が開かれている環境部会の継続テーマとして「自転車マナーを向上させる取組の推進」があり、安全教室を実施することで、家庭から意識啓発を図るのが良いのではないかと【押山委員】 自転車教室の開催など、色々な場面で推進が必要、小学校だけでなく、大人も参加し、全体で環境づくり【西野委員】	・【問11:今後行政に特に力を入れてほしいもの】 『放置自転車や自転車マナー対策,38.9%(13項目中2位)』 『駅前・道路・歩道の整備,24.5%(13項目中6位)』 ・【問15:地域の課題・問題点】 『自転車利用者のマナーが悪い,50.5%(13項目中1位)』 『駅前周辺に放置自転車が多い,26.5%(13項目中3位)』 ・第3期幸区区民会議の提言 『定期的かつ継続的な意識啓発活動を展開し、区民の自転車マナーの向上を促進する』	・交通安全対策協議会に属する関係団体や警察等の関係機関と連携した、各季の交通安全キャンペーンの実施(自転車マナーアップ等) ・区内全小学校の1年生、3年生を対象に、警察等と連携した交通安全教室の実施(幼稚園、保育園、町内会、区PTA協議会、老人クラブ等で実施) ・自転車街頭安全点検の実施(年3回) ・鹿島田駅周辺総合的環境整備事業による放置自転車防止等の啓発活動の実施(小学校、中学校、町内会・自治会、商店会と連携した取組)
		自転車交通安全の防止	現在、民間の方が、二人一組で自動車の駐車違反の取締りを行っているが、同じようなことが自転車の取締りにも活用できないか【押山委員】	・平成24年度から、自転車マナーアップ指導員の配置(4名が2人1組で巡回、週ごとに自転車事故多発地域に指定されている川崎市、幸区、中原区、高津区、多摩区を巡回し、概ね週3回活動)	
		子どもの安全安心	1. こどもの通学時の安全確保 第3期の活動に「自転車マナーアップ啓発活動」があり、継続的な意識啓発活動の提言があった。児童の通学時のみではなく、自転車走行の安全確保にも関係しているので、地域での活動にあわせて啓発していきたい【鈴木委員】	・【問4:住み続けたくない理由】 『子育てしにくい環境だから,20.0%(8項目中4位)』 ・【問11:今後行政に特に力を入れてほしいもの】 『子ども・子育て関係事業,27.7%(13項目中4位)』 ・【問15:地域の課題・問題点】 『街頭犯罪や小学生の登下校時の安全対策に対して不安がある,21.7%(13項目中6位)』 『子どもや子育てを地域ぐるみで支援する仕組みが不十分である,15.2%(13項目中10位)』	・平成24年度から学校(PTA)、警察、関係行政機関等と連携した、通学路の安全点検の実施。年度内に7区合同会議2回開催、幸区内の2ヶ所で開催(現場検証、検証結果の検討)
暮らしの安全	まちの街路照明のあり方検討	1. 地域における防犯照明調査・計画 活気のある商店街、そうではない商店街で、街路灯の助成に差をつけてもよいのではないかと【昼間委員】 防犯照明の地域的な計画を調査・作成し、防犯照明のあり方を検討する。【昼間委員】 街路灯助成制度にバリエーションを(防犯面が強いところ、広告面が強いところ)【昼間委員】	・【問11:今後行政に特に力を入れてほしいもの】 『街頭犯罪の防止,36.7%(13項目中3位)』	・商店街の街路灯電気料の補助 ・町内会・自治会の所有する防犯灯電気料の補助	

地域の課題		取組み方針(案)	取組内容(案)	幸区区民アンケート結果(2012.6)	幸区内での主な取組
分野	テーマ				
	健康づくり ・健康維持には検診が重要	健康の意識づくり	1.健康診断受診率アップ 健康面では、市が実施している健診の受診率を上げていく。健康に対する意識を変えていく【小泉委員】	・【問11:今後行政に特に力を入れてほしいもの】 「健康づくりに関する事業」13.6%(13項目中10位)	・保健福祉センターだよりの配布(年3回、各回69,000世帯に配布) ・保健福祉センターだよりに特別号(平成24年2月発行)にて健康診査の受診促進の広報を実施 ・介護予防グループ支援事業の実施(地区リハビリ教室、高齢者地域グループ支援、健康づくり自主グループ、独居高齢者昼食会など、23年度には計242回開催し、4,505人が参加) ・「介護予防いきいき大作戦」の実施(介護予防に関する活動を地域で行い広める「いきいきリーダー」の養成や「上を向いてあるこう」などのなじみの曲に合わせて気軽にできる「介護予防かわさき体操」の取組推進など) ・楽しみながら健康について考える健康フェアの開催(年1回開催)
エコ・環境のまちづくり	ゴミの分別、ゴミの減量 ・第3期における「地域におけるエコ・環境の推進」について継続審議	ゴミの分別・ゴミの減量	地域におけるエコ・環境の推進について【近藤委員】	・【問15:地域の課題・問題点】 「ごみ減量化やリサイクルの取組が不十分である」11.8%(13項目中12位) 【問29:地域環境配慮(エコ・節電・ゴミの分別について)のために実施していること】 「不用品な電気を使わないなど節電に関すること」75.2% 「ゴミの分別に関すること」75.2% 「ゴミの削減(エコバックの利用等)に関すること」47.1%	・リユース食器(使い捨てでない食器)の各種イベントにおける利用促進 ・各小学校における出前ごみスクールの実施(環境局川崎生活環境事業所)
	環境問題 ・第3期提言の資源物問題を継続し、区民に浸透するよう、色々な場面での推進を試みる	リサイクル活動の推進	色々な集合・集会場所での推進活動【西野委員】	【問30:地域環境配慮のために、今後、力を入れてほしいもの】 「太陽光発電の設置等自然エネルギーに関すること」46.5% 「植栽等緑化推進に関すること」28.2% 「水の再利用など節水に関すること」24.9% 第3期幸区区民会議の提言 「ゴミの分別方法に対し、区民の目線に立った分かりやすい情報提供を行い、ゴミ分別を徹底し、地球環境への意識向上を図る」	・こども向けに地球環境問題について気軽に体験でき、楽しみながら学ぶことができるこども環境展の実施(10月28日) ・区役所等でのインクカートリッジ、たぶら油等の廃食油、古着の回収

第 4 期幸区区民会議 審議テーマの選定にあたっての考え方（案）

項目	内容
協働性	区民が主体となり、行政と協働して行うにふさわしいか
実現性	区民会議での審議により、具体的な解決策が見いだせるか 実際に行動する主体が想定できるか
必要性	区民の関心が高く、解決が望まれているものか 既存の行政や区民活動では取り組みが未だ不十分なものか
緊急性	速やかに解決を図らないと区民生活に重大な支障が生じることが 予想されるか
公平性	特定の対象や地域に偏ることなく、多くの区民に関わる課題か

第4期幸区区民会議専門部会名簿

(仮称) A 部会	
審議テーマ(候補)	
地域防災 地域安全 自転車マナー エコ・環境 等	
氏名	推薦団体・公募
いしはら ようこ 石原 陽子	幸区自主防災連絡協議会
おしやま かねつぐ 押山 兼二	幸区交通安全対策協議会
かみや あつこ 神谷 厚子 (副委員長)	幸区子ども会連合会
こいずみ みいこ 小泉 実意子	川崎市幸区医師会
こんどう たえ 近藤 多恵	日吉のわッ実行委員会
すずき なみえ 鈴木 奈美枝	幸区保護司会
にしの きょういち 西野 恭一 (委員長)	幸区町内会連合会
ひるま まさはる 昼間 政治	川崎市幸商店街連合会
みほり はちろう 三堀 八郎	市民公募

(仮称) B 部会	
審議テーマ(候補)	
高齢者のサポート 障害者のサポート 地域コミュニティ 地域の魅力 等	
氏名	推薦団体・公募
かみや みわ 神谷 美和	幸区役所夢こんさあと 実行委員会
こば としみつ 古場 敏光	幸区まちづくり推進委員会
さかい きよし 酒井 清	幸区文化協会
すずき ただお 鈴木 忠夫	日吉商店街連合会
すずき みやこ 鈴木 都	市民公募
とばり かずよし 戸張 一吉	幸区老人クラブ連合会
ならばやし てるえ 榎林 照江	川崎市幸区社会福祉協議会
はら きよこ 原 紀代子	市民公募
はるた きみえ 春田 公江	市民公募
むらた せいこ 村田 清子	幸区民生委員児童委員協議会
ゆき えつこ 遊佐 栄津子	幸区 P T A 協議会

川崎市区民会議条例施行規則

平成18年3月31日

規則第28号

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市区民会議条例（平成18年川崎市条例第11号。以下「条例」という。）第4条第2項第1号及び第12条の規定に基づき、区民会議の組織に関し必要な事項を定めるものとする。

(課題の選定)

第2条 区民会議は、区民会議の委員が自らの活動等を通じて把握した課題及び区役所が業務を通じて把握した課題のうちから調査審議すべき課題を適切に選定するものとする。

(分野)

第3条 条例第4条第2項第1号に規定する規則で定める分野は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 防災又は地域交通環境の向上など安全で快適な暮らしを支える分野
- (2) 福祉の推進、健康の増進など幸せな暮らしを支える分野
- (3) 子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野
- (4) 緑の保全、ごみの抑制など自然環境又は生活環境を向上させる分野
- (5) 産業の振興、都市拠点の形成などまちの活力を高める分野
- (6) 文化又は観光の振興などまちの魅力を発信する分野
- (7) 地域住民組織活動、まちづくり活動など市民自治を推進する分野
- (8) 前各号に定めるもののほか、各区の地域特性に応じた課題に関する分野

(専門部会)

第4条 区民会議は必要に応じ委員で構成される専門部会を設置し、専門部会は専門的事項に関する調査検討を行うものとする。

- 2 専門部会に属すべき委員は、委員長が区民会議に諮って指名する。
- 3 専門部会に部会長を置き、専門部会に属する委員の互選により定める。
- 4 専門部会は、調査検討のため必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。
- 5 部会長は、専門部会の事務を掌理し、専門部会の調査検討の経過及び結果を区民会議に報告するものとする。

(委任)

第5条 この規則に定めるもののほか、区民会議の組織に関し必要な事項は、区長が定める。

附 則

この規則は、平成18年4月1日から施行する。



幸区区民会議だより

発行: 第4期幸区区民会議

問合せ: 幸区役所まちづくり推進部企画課 電話: 044-556-6612 FAX: 044-555-3130 E-mail: 63kikaku@city.kawasaki.jp

第4期幸区区民会議がスタート

川崎市では、平成19年に区民の皆さんが中心となり、地域社会の課題解決に向けた調査審議を行う区民会議(任期2年)を各区で発足しました。

幸区では、平成24年7月に第4期幸区区民会議が発足し活動を開始しました。

地域の団体からの推薦と公募による20人の委員で構成され、平成24年7月23日に、幸区役所5階第1会議室で第1回目の会議を開催し、正副委員長の選出や企画運営部会・専門部会の設置、これから審議していくテーマなどについて審議しました。



第4期幸区区民会議委員の皆様

今期から新たに参加する11名(印の方)を含めた20名が、審議テーマごとに2つの部会に分かれ、2年間にわたり調査審議を行います。

【(仮称)A部会】安全・安心のまちづくり	
氏名	推薦団体・公募
いしはら ようこ 石原 陽子	幸区自主防災連絡協議会
おしやま かねつぐ 押山 兼二	幸区交通安全対策協議会
かみや あつこ 神谷 厚子	幸区子ども会連合会 副委員長
こいずみ みいこ 小泉 実意子	川崎市幸区医師会
こんどう たえ 近藤 多恵	日吉のわッ実行委員会
すずき なみえ 鈴木 奈美枝	幸区保護司会
にし の きょういち 西野 恭一	幸区町内会連合会 委員長
ひるま まさはる 昼間 政治	川崎市幸商店街連合会
みほり はちろう 三堀 八郎	市民公募

【(仮称)B部会】地域での支え合いやコミュニティ	
氏名	推薦団体・公募
かみや みわ 神谷 美和	幸区役所夢こんさあと実行委員会
こば としみつ 古場 敏光	幸区まちづくり推進委員会
さかい きよし 酒井 清	幸区文化協会
すずき ただお 鈴木 忠夫	日吉商店街連合会
すずき みやこ 鈴木 都	市民公募
とばり かずよし 戸張 一吉	幸区老人クラブ連合会
ならばやし てるえ 榎林 照江	川崎市幸区社会福祉協議会
はら きよこ 原 紀代子	市民公募
はるた きみえ 春田 公江	市民公募
むらた せいこ 村田 清子	幸区民生委員児童委員協議会
ゆさ えつこ 遊佐 栄津子	幸区PTA協議会

正副委員長の選出

委員の互選により、第3期に引き続き、次のお二人に決定しました。

〔委員長 ……西野 恭一 委員 (写真:右)
副委員長 ……神谷 厚子 委員 (写真:左)〕



2つの専門部会((仮称)A部会・B部会)における審議テーマ候補

第1回目の会議では、各委員が日頃の活動等を通じて地域課題とと思っていることを確認しあい、「安全・安心のまちづくり」と「地域での支え合いやコミュニティ」という2つのテーマを調査審議する専門部会を設置していくことになりました。

今後は、専門部会ごとに、具体的な審議テーマを選定し、調査審議を進めていきます。

【(仮称)A部会】安全・安心のまちづくり

委員から提案された取組テーマ	審議テーマ候補案
安全・安心の区民生活	地域防災活動の推進
震災等災害時避難所における避難者のストレス改善、アメニティ向上の支援サービス体制構築	
区民が「備えあれば憂いなし」と言えるまちづくりの提案	
防災・避難	
地域避難所の初期設置方法について	
自転車マナーの向上	自転車マナーの向上
自転車による交通事故の防止	
地域ぐるみで未来を担う子どもを守り育てる	子どもの安全
街路照明のあり方	暮らしの安全
ゴミの分別、ゴミの減量	地域におけるエコ・環境の推進
環境問題	
安全・安心の区民生活	健康づくり

【(仮称)B部会】地域での支え合いやコミュニティ

委員から提案された取組テーマ	審議テーマ候補案
高齢者に向けたサポートについて	高齢者のサポート
高齢者のための支援とコミュニティの場づくりについて	
社会構造の変化と共に生活弱者化が進む「概ね60歳以上の高齢独居者、老老・老障小家族、自宅介護家族など」の支援を目的とする、コミュニケーション向上と生活面でのバリアフリー化サービス(ビジネス&ボランティア)促進の体制構築	
独居、引きこもりなどで困っている弱者を救う	
地域社会での孤立・孤独をなくす取組の強化推進	
地域における高齢者福祉の充実について	障害者のサポート
第3期区民会議の「安心・思いやり部会」を引き継ぎ、新たに構築していく	
障害者のサポート体制と暮らしやすい地域づくり	地域コミュニティ活動の推進
子育て支援	
地域における傾聴活動の推進	
高齢者や子どもとの交流	
市民も含め、地域の連携を広げる	
夢見ヶ崎公園の魅力発信	地域の魅力発信
区の「花と木」について	

会議は傍聴できますので、ご興味のある方はぜひお越しください。

(傍聴者は先着順 20名 専門部会は5名)

幸区区民会議の詳細、開催スケジュール等の情報は、区ホームページにも掲載しています。

幸区区民会議

検索